

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第207号



2024年1月26日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

ホームページ メール

90-1837-5347 239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付



拡大幹事学習会①

日本の公的扶助(救済)の歴史 戦後編

キックオフ集會に65名参加!

「原子力空母の交代を問う 2024 キャンペーン 1.21 キックオフ集會」が開催されました。①市内5箇所でのミーティング②タウン紙などへの意見広告③3000人目標のアンケートなどの素案が紹介されました。その後、市内の居住区ごとに小グループにわかれ、それぞれの問題意識、意見、地域での行動案などを出し合って討議。最後に、それぞれの地区の報告をしました。写真は呉東弁護士のFBより

尚、各地域の集會は、以下の通りです。各地域で参加しましょう。①追浜田浦:3/20(水・祝)場所時間未定 ②本庁逸見:3/3(日)13時@産プラ③大津浦賀:2/2(金)17時@クール克蘭カフェ④久里浜北下浦:3/9(土)13時@久里浜コミセン ⑤衣笠・西:はまゆう会館で検討中◆個別グループ:3/17(日)11時@三笠教会◆全体会議:3/31(日)13時@ウエルシティ大学習室

1946年(昭和21)、生活保護法が制定、1950年(昭和25)に改正されました。保護の水準は健康で文化的な最低限度の生活維持に足るものであるべき、とした内容でした。1957年(昭和32)、結核患者の朝日茂は、保護基準額の低さに納得できず、厚生大臣を被告とする行政訴訟を提訴しました(朝日訴訟)。朝日訴訟は、「人間に値する生活とは何か」等を明らかにする裁判となりました。そして、権利はたたかうことによってのみ勝ちとることができることを証明しました。

公務公共一般A・H

久里浜海岸大凧あげ大会開催!

火力発電所建設を考える会は、毎月1日に門前アクションを行っていますが、1月は、凧あげでアクションをおこないました。強風で上空には揚げられませんでした。いつもの2倍以上の参加者でNo Coal、YES再エネ100%と元気の良いアクションとなりました。沖縄から帰省中の家族全員で参加した方や、遠方から参加の青年など、若い力も感じられました。

